TPCマーケティングリサーチ株式会社(旧:株式会社総合企画センター大阪) 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町2-4-2 なにわ筋SIAビル8F

広報室

Communication Magazine

06-6538-5358

FAX 06-6538-6531

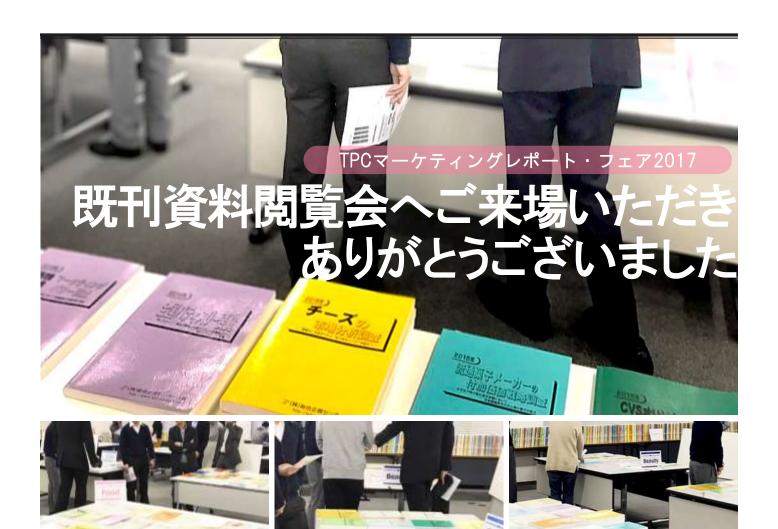
HP http://www.tpc-cop.co.jp/

MAIL webmarke@tpc-osaka.com



Index /

- 既刊資料閲覧会へご来場いただき ありがとうございました
- 02 食事で見える『糖』対策への意識
- 03 対策グッズが手放せない!春の花粉症
- Photo Library
- TPC Marketer's
- 06 編集後記



2017年2月15日(水)~2017年2月17日(金)の3日間にわたり開催しました、「TPCマーケティングレポート・フェア2017 既刊資料閲覧会」は、お陰様で大盛況のうちに終了致しました。

ご来場くださいました皆様におかれましては、遠方よりご足労いただき誠にありがとうございました。

当日は約1,400冊にも及ぶレポートをご覧いただきましたが、皆様のお探しの調査レポートは見つかりましたでしょうか。

弊社では、発刊されているマーケティングレポートをもとに、最新の情報の追加や、関連情報を新たに実査する「オーダーメイド調査(受託/依頼調査)」も承っております。気になるレポートやデータがございましたらお気軽にお問合せください。

また、同時開催の「無料相談会」にも、多数のお問合せとご予約 をいただきました。

皆様が現在お抱えの、マーケティングに関する課題を解決するための糸口になりましたら幸いです。

次回開催については、前後する可能性もございますが9月頃を予 定しております。

詳しい開催時期・内容が決定次第、追ってご連絡させていただき ますので、ご参加いただけましたら幸いです。

また、今回お客様より頂きましたご意見・ご要望に関しては、社 員一同真摯に受け止め、改善に向けて取り組んでいく所存です。

閲覧会に関するご要望・ご意見などございましたらお気軽にご連絡くださいませ。 今後とも、「TPCマーケティングリサーチ株式会社」をよろしくお願い申し上げます。 Column

Health

食事で見える『糖』対策への意識

糖尿病、血圧上昇… 注目される「高血糖」に対する考え方

血糖値が高くなる原因の多くは、食べ過ぎ・脂質の摂取過多・運動不足といった生活習慣の乱れによるもの。今回は"食"に焦点を当て、『糖』対策についてどういった意識を持っているのか、どうして『糖』対策を始めたのかを調査しました。

どっちが気になる? 「食事の糖の吸収」と「血糖値の上昇」

それでは、弊社の消費者調査レポート「『糖』対策 の商品ニーズ調査」を参考に、集計したデータを見 ていきましょう。

以下は、「食事の糖の吸収」と「血糖値の上昇」気になる影響はどちらかをまとめたグラフです。

全体	66.1	33.9
男性 若年層	76.3	23.8
男性 中年層	65.6	34.4
男性 高年層	57.5	42.5
女性 若年層	80.7	19.3
女性 中年層	74.2	25.8
女性 高年層	50.9	49.1

結果として、「食事の糖の吸収」の方が気になると答えた人が全体的に多いということが明らかになりました。詳しく聞いてみると、男女ともに4割以上が、糖質の多い白米などの主食や菓子類・砂糖を意識して控えているとのことでした。

さらにグラフからも読み取れるように、男女とも 高年層になるにつれ「血糖値の上昇」が気になる人 の割合が多くなるようです。

太りたくない、体系を維持したい 『糖』対策商品を摂取する理由とは

生活習慣の改善のために、食事を見直す人が多い ことは分かりましたが、同じく『糖』対策商品を摂 取する人も増加しています。

では、『糖』対策商品を摂取し始めたきっかけとは 一体何だったのでしょうか。アンケートで最も多か った理由を順に5つ抜き出してみました。



グラフから、最も多かった回答は「肥満防止(太りたくない)のため」、出現率は48.3%と半数近くにのぼる結果となりました。

そのあとは「体重が増加してきたから」「お腹が出てきたから」と続いており、主に体型維持や病気予防を気にして『糖』対策商品を摂取し始めたという人が多い印象を受けました。

『糖』対策の"やりすぎ"には注意!

普段から糖質の多い食品を控えている人は多く、 本調査でもその傾向が見られました。

しかし血糖値が低ければ低いほど良い訳ではありません。糖が足りていない「低血糖」は、震え・ 頭痛・痙攣などの症状、合併症による命の危険まで 考えられるのです。バランスよく、自分と相談しな がら無理のない『糖』対策を!

参考レポート

2017年2月10日発刊



消費者調査No.236 「糖」対策の 商品ニーズ調査

360,000円+税

食事の「糖」を気にして、「現在」「継続的に1ヶ月以上」「定期的」に「糖(血糖値)」対策の特定保健用食品または機能性表示食品を摂取している20~60代の男女620人を対象に調査を実施!

関連レポート

2016年12月15日発刊



消費者調査No.233 『ロカボ』ドリンクの 受容性調査

360,000円+税

Check!

くしゃみ・鼻水・目のかゆみ…原因のアレルゲンはスギ花粉だけじゃない!

対策グッズが手放せない!春の花粉症



この時期に飛ぶ花粉、と言われて皆さんが一番に思い当たるのは、 有名な「スギ花粉」ではないでしょうか。重量が軽いために遠くま で飛ばされやすいスギ花粉ですが、丁度3月中旬からピークを迎え ています。聞いただけで鼻がムズムズしてきますね。

勿論この時期飛んでいる花粉はスギだけではありません。患者の約7割がスギ花粉症患者でもあることで知られる「ヒノキ花粉」、交差反応により口腔アレルギー症候群(OAS)が発症する可能性のあ

る「ハンノキ花粉」など、厄介な花粉も多く飛散しています。

一般的な対策として、やはりマスク着用は欠かせません。最近は 眼鏡やクリームといった花粉対策商品も販売されているので、それ らを使用して目や鼻の粘膜を守ることが大切です。

また地域によって差はありますが、午後1時~3時頃は1日のうち 花粉の飛散量が多い時間帯です。なるべく外出を避ける、帰宅時に 衣服に付着した花粉を払い落とすなども重要な対策となります。

Photo Library



Webマーケが撮影した 今月の1枚をご紹介



左は東京ミルクチーズ工場さんの「ソル ト&カマンベールクッキー」の写真です。

ラングドシャのような食感のクッキー に、チーズのチョコプレートがサンドされ た一品。クッキーの塩味と中のチーズのバ ランスが絶妙で、食べ始めると止まらなく なってしまうほどの美味しさでした。

直営店舗は東京のみですが、大阪では関 西国際空港で取り扱いがあるようです。お 土産にぴったりの人気商品なので、見かけ たらぜひ購入してみてください。

Check!

即席めん・冷凍めん・チルドめん・乾パスタ・乾めん それぞれの市場を徹底調査!

TPC Marketer's

2017年3月16日に発刊しためん類市場の調査レポートについて、調査担当者がご紹介します。 資料の概要や調査項目は、弊社WEBサイトでご確認いただけます!

TPC ビブリオテック



めん類の市場分析調査

めん類市場は、ライフスタイルの変化に伴い 「簡便」「個食」「健康」ニーズが高まっており、 今後も市場拡大が期待できる状況にあります。 このため、参入各社は、基幹ブランドの強化、 付加価値商品の開発、積極的な販売促進策に注 力しており、市場のさらなる活性化を図ってい

当資料では、めん類の市場を種類別、業態別、 フレーバー別、容器別などで分析。

さらに、各社の商品開発動向や広告・販売戦 略などを明らかにしています。

ぜひ、一度ご覧いただき、ご検討いただける と幸いです。



2017年 めん類の市場分析調査

発刊日:2017年3月16日 頒価: 87,000 円+税



2016年 業務用冷凍食品の市場分析 調査

発刊日:2016年10月26日 頒価: 87,000 円+税



上野 利恵

2008年入社。 現在は第1マーケティン ググループにて、メディカ ルフードを中心に、加工 食品領域を担当してい

編集後記

今回から新社名「TPCマーケティングリサーチ株式会社」としてお送りするTPC広報室、いかがで したでしょうか。実は今月から、本紙の編集を担当しているwebマーケに新たなメンバーが加わりま した!一段と賑やかになったwebマーケが、今後も様々な情報・小ネタをお届けしていきますので、 どうぞよろしくお願い致します。

さて寒い季節も終わりに差し掛かり、いよいよ4月となります。日本各所で桜が見頃を迎えており、 家族や会社の仲間とお花見に行くご予定を立てていらっしゃる方も多いのではないでしょうか。お酒 の力で羽目を外しすぎないように、春の風物詩を楽しみましょう。



TPCマーケティングリサーチ株式会社 (旧:株式会社総合企画センター大阪) 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町2-4-2 なにわ筋SIAビル8F 06-6538-5358

FAX 06-6538-6531

HP http://www.tpc-cop.co.jp/ MAIL webmarke@tpc-osaka.com